

「今、何の病気が流行しているか！」

（川崎市感染症発生動向調査事業－令和5年第3週）の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和5年第3週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第3週（令和5年1月16日から令和5年1月22日まで）

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.92人と前週（8.73人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は9.48人と前週（6.66人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.43人と前週（0.24人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“風しんはワクチンで予防できる感染症です。”について取り上げました。

風しんは、発熱や発しん、リンパ節腫脹を主な症状とするウイルス性の感染症です。特に、風しんへの免疫が不十分な妊婦（妊娠20週頃まで）が感染した場合、眼や心臓、耳等に障害を持つ、先天性風しん症候群（CRS）の子どもが生まれることがあり、大きな問題となっています。

我が国では、風しんの予防及びCRSの発生を防ぐため、公的予防接種を受ける機会がなかった成人男性に対して、無料で抗体検査及びワクチン接種（第5期定期接種）を受けることができるクーポン券を送付しています。さらに、川崎市では、妊娠を希望する女性等に対しても、無料の抗体検査及びワクチン接種費用の一部助成を行っています。抗体価が不十分であると判明した場合は、御自身と子ども達を守るためにも、直ちにワクチンを接種しましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

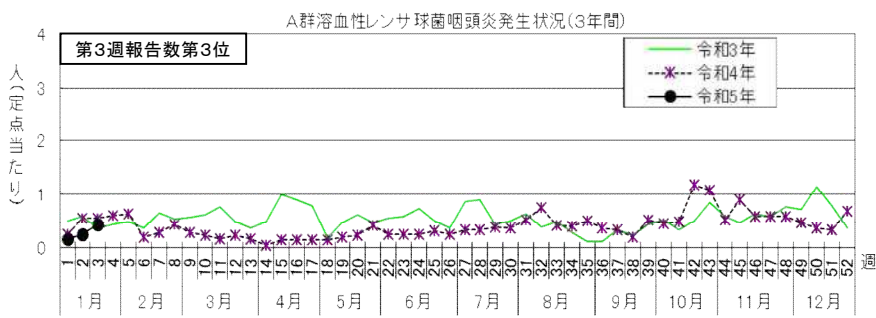
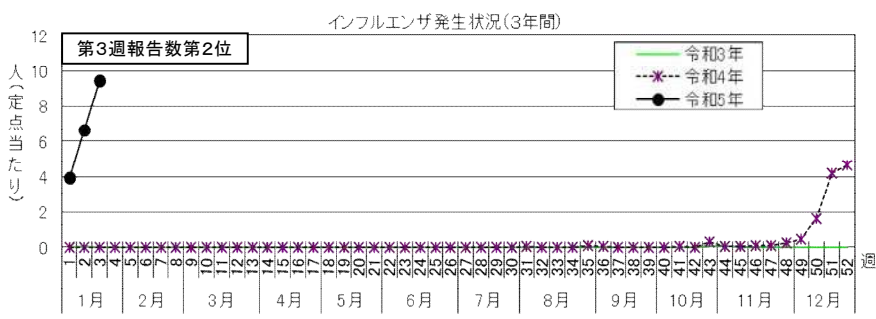
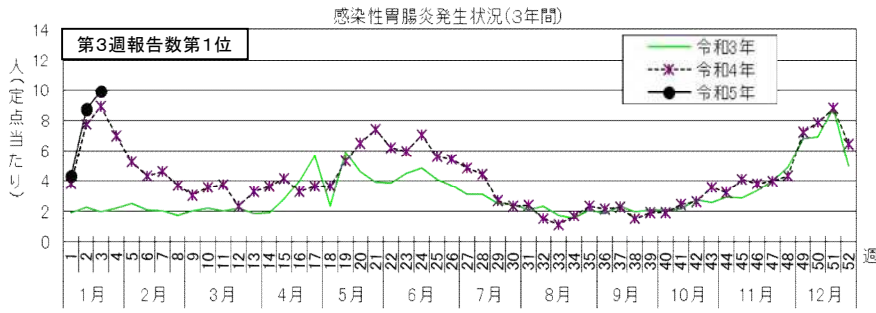
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年1月16日（月）～令和5年1月22日（日）〔令和5年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.92人と前週（8.73人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は9.48人と前週（6.66人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.43人と前週（0.24人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



風しんはワクチンで予防できる感染症です。

風しんは、発熱や発しん、リンパ節腫脹を主な症状とするウイルス性の感染症です。特に、風しんへの免疫が不十分な妊婦（妊娠20週頃まで）が感染した場合、眼や心臓、耳等に障害を持つ、先天性風しん症候群（CRS）の子どもが生まれることがあり、大きな問題となっています。

我が国では、風しんの予防及びCRSの発生を防ぐため、公的予防接種を受ける機会がなかった成人男性に対して、無料で抗体検査及びワクチン接種（第5期定期接種）を受けることができるクーポン券を送付しています。さらに、川崎市では、妊娠を希望する女性等に対しても、無料の抗体検査及びワクチン接種費用の一部助成を行っています。抗体価が不十分であると判明した場合は、御自身と子ども達を守るためにも、直ちにワクチンを接種しましょう。

令和4年度川崎市風しん対策事業

対象者：本市の事業を利用したことがない川崎市民で、次のいずれかに当てはまる方

- ・妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性のパートナー
- ・妊婦のパートナー
- ・昭和34年4月2日～平成元年4月1日の間に生まれた男性

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施場所：市内協力医療機関

接種ワクチン：麻しん・風しん混合（MR）ワクチン

風しん抗体検査から予防接種までの流れ

①抗体検査（無料）

風しん抗体価が不十分な場合

②予防接種（3,200円*）



*昭和37年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、厚生労働省の追加的対策の対象者となり、免疫を保有していない方は接種費用も無料となります。クーポン券を利用して、抗体検査及びワクチン接種（第5期定期接種）を受けましょう。



※詳しくは令和4年度川崎市風しん対策事業ホームページをご覧ください。